

市町村名	粟国村						
平成24年度(事故繰越)沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	3-①	多目的施設整備事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-2-(4)-イ	
担当部課名	総務課	事業実施(予定)年度	平成24~25年度		沖縄振興基本方針該当箇所	災害に強うイ県土づくりと防災体制の強化 Ⅲ-10-(2)	
事業内容	災害時における村民・観光客等の生命・財産を確保するための避難施設、地域住民と観光客が交流できる複合施設を整備する。						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他 ()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)		24年度	24年度(繰越)	24年度(事故繰越)	25年度	26年度	
	予算の状況	(a)当初予算額	170,838				
		(b)予算現額	170,838				
		(c)増減額(b-a)	0	0	0		
		(d)繰越額	—	154,680	79,857		
		A.計(b+d)	170,838	154,680	79,857		
	B.執行済額		16,158	74,823	79,615		
	うち交付金充当額		12,927	59,859	63,691		
	次年度繰越額		154,680	79,857	0		
	執行率(%) (B/A)		9.5%	48.4%	99.7%		
予算の状況の説明		設計終了後に土質調査の結果地盤改良の必要性があり、そのため基礎工法に変更が生じ、時間を要したことから工事費154,680千円を25年度に繰り越した。また、25年度において工事期間中に、台風の襲来や海上時化により、機械・機材の搬入に遅延が生じ、国の経済対策や消費税増税前の駆け込み需要等の工事発注の激増により、全国的に職人不足が発生し、本工事受注者も職人手配や資材の調整に附則の日数を要したことから工事費の一部79,857千円を26年度に繰り越した。					
活動目標(指標)及び達成状況	H24活動目標(指標)		達成状況				
			24年度	25年度	26年度	27年度	
	避難及び交流等のための多目的施設の整備	目標	(実施)			()	
		実績	実施設計、建築工事の実施				
		目標	()	()	()	()	
	実績						
達成状況説明	平成24年度に3階建コンクリート造の多目的施設の実施設計を実施し、平成25年度、平成26年度に建築工事を実施した。						
成果目標(指標)及び進捗状況	H24成果目標(指標)		基準値(年度)	24年度	25年度	26年度	目標値(年度)
	避難及び交流等のための多目的施設の整備	目標	()	(実施)	()	()	()
		実績		実施設計、建築工事の実施			
		目標	()	()	()	()	()
		実績					
進捗状況説明	平成24年度は実施設計のみとなった。土質調査の結果、基礎工法に変更が生じたことから時間を要したため次年度へ工事を繰り越した。						

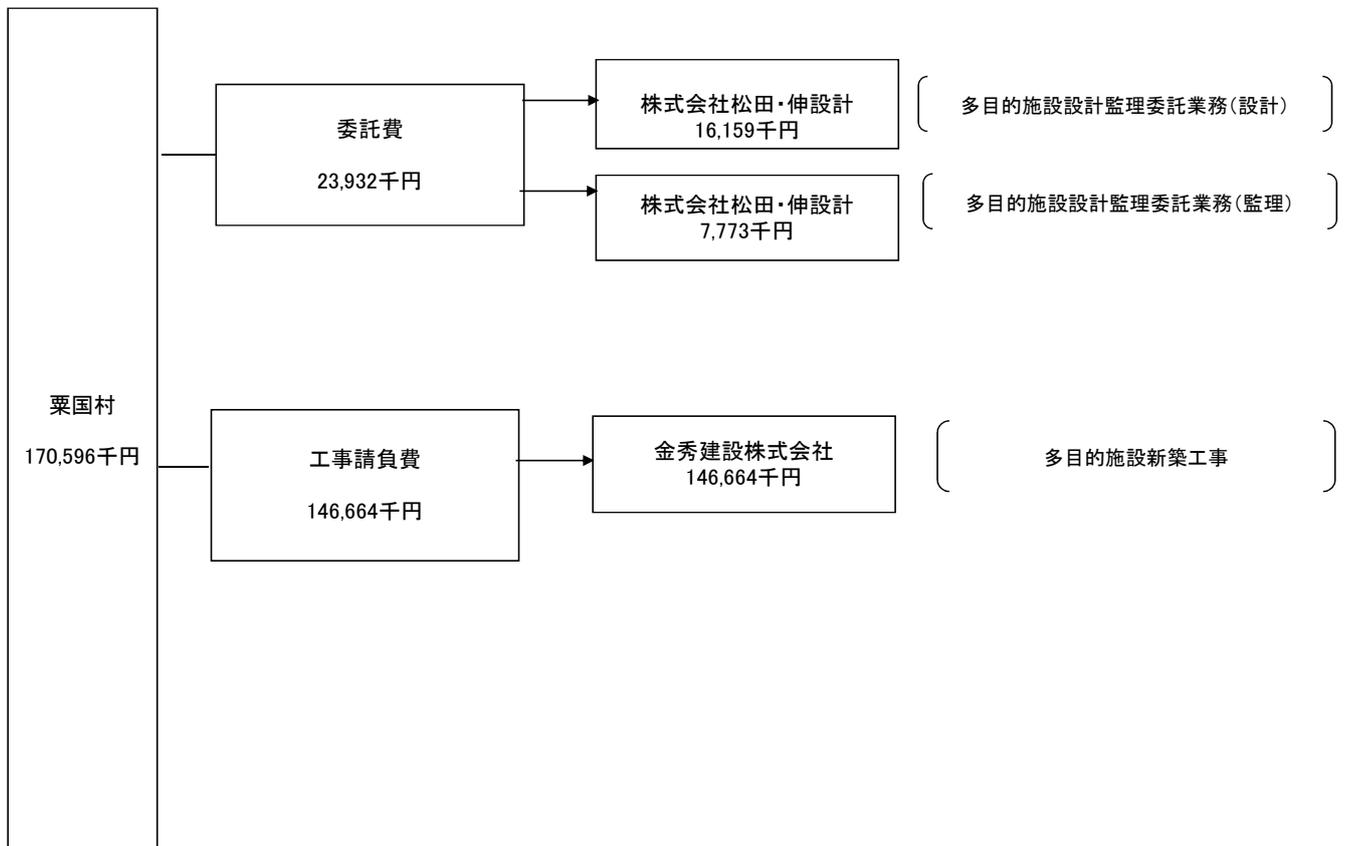
	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
取組の検証	<p>本村では、緊急時の避難先としての施設が不足しており、また観光客の生命と財産を守り、有事の際の不安を解消する施設の建設が求められていたため整備を行った。</p> <p>多目的施設の整備については、土質調査の結果から基礎工法に変更が生じたことから時間を要したため、25年度に繰越して事業を実施した。また国の経済対策事業や震災復興事業の影響及び消費税増税の特需で平成24年度から人件費が高騰したため、入札不調が続き、5日目で落札されたが、台風等によるフェリーの欠航により資材の搬入の遅れや職人手配に遅れが生じ不測の日数を要し、一部工事を平成26年度に繰り越して実施した。</p> <p>施設の完成により観光客との交流の場、避難施設・備蓄倉庫を備えた複合施設として今後この施設の活用に向け、観光交流イベントや避難場所としての周知や避難訓練などを実施することに力を入れる必要がある。</p>	<p>当初計画より工期が大幅に遅れてしまったが、今後、事業実施に際しては事業関係者とこれまで以上に緊密に意思疎通を図るとともに、不測の事故が発生しても契約期間の延長がないよう余裕を持った工期設定を行いたい。</p> <p>避難施設として周知徹底がされるよう避難訓練を毎年行うことや、地域住民と観光客の年間を通じたイベント企画に力を入れる。</p>

今後の取り組み方針

平成26年9月に供用開始しており、今後は、地域住民と連携しながら、施設管理に努め、安心・安全な避難施設として運営していくと共に、地域住民と観光客の交流の促進を実施し、施設を活用した地域活性化に向けた取組を強化する。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金		交付対象外経費
		充当額	市町村負担金	
170,596	170,596	136,477	34,119	0



資金の 使途の 流れ、 点検 評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○委託及び工事の業者選定は指名競争入札により実施しており、妥当であったと考えている。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	○費目・使途については事業目的達成の観点から必要なものなのか等については額の確定時において検査、確認しており、適正であった。
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	○予算規模については積算基準に基づいて適正な積算を行った。
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	